



現状と課題

- ◆様々な資料を読み取る力が不足しており、学習内容が表層的な理解に終始しがちである。
- ◆実物や映像資料などを工夫し、情報を適切にまとめる力が不足している。
- ◆地域での施設体験などが少なく、地域の特性や魅力が十分に周知されていないため、地域社会の一員としての自覚が低い。



達成目標

- ◇様々な資料や調査活動を通して情報を適切にまとめる技能を身に付ける。
- ◇社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力を身に付ける。
- ◇地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについて自覚を養う。



取組の重点

中学年

- ① 本時の学習に適した資料を厳選して与え、見方・考え方を丁寧に指導し、情報をまとめる技能を身に付けさせる。  
(関連：算数 活用：新聞)
- ② 考えたことや選択・判断したことを文章で記述したり、図・表などに表したことを使って説明したりする場面を多く設定して、表現する力を養う。(関連：国語、算数)
- ③ 地域体験活動を通して、地域の一員としての自覚をもたせる。

高学年

- ① 本時の学習に適した資料を厳選して与え、見方・考え方を丁寧に指導し、情報を適切にまとめる技能を身に付けさせる。  
(関連：算数 活用：新聞)
- ② 考えたことや選択・判断したことを根拠や理由などを明確にする場面を多く設定し、論理的に説明したり、他者の主張につなげ、立場や根拠を明確にして議論したりする力を養う。(関連：国語、算数)
- ③ 世界や自国の歴史や特性を知る学習を通して、公民的資質を養う。

学習の流れ

1 課題把握⇒焦点化

2 調べる⇒資料活用  
(算数との関連)

3 まとめる⇒書く活動  
(国語との関連)

4 まとめ⇒定着化

- ・本日の授業のねらいはなにか。・どんな手立て、効果があったか。
- ・その結果何ができるようになったか、子ども達は自覚できたか。

個別最適な学び

- ・個に応じた学習計画、ワークシート
- ・個に応じた追及の視点(テーマ)
- ・個に応じた調べ方学習

協働的な学び

- ・個で調べたことを共有し、議論・フィードバック
- ・グループによるプロジェクト学習
- ・場の設定、ICT等道具の工夫 ・発表の工夫

学年での取組状況チェック

	3年	4年	5年	6年
2学期				
3学期				



- 3月：年間指導計画への位置づけ
- 4,5月：県及び全国学力・学習状況調査(国・算)の実施
- 9月：上記調査結果、1学期授業内テストの分析、  
国語・算数との関連を意識した新たな学力向上プラン策定